



にじいろプロジェクト4

～発表会、大成功！～

令和7年 2月号

日出みみよう保育園



あかぐみさんにとっては初めての発表会。『発表会ってどんなことをするのか？』と、まずは昨年のDVDをみんなで見ることから始めました。お兄ちゃん、お姉ちゃんの姿を興味津々で見ていた子どもたち。取り組みも、あかぐみさんにとっては“練習”というより、楽しいあそびの一つ。先生やお友だちといつも楽しく取り組んできました。あれもやりたい、これもやりたいと、一つに絞るのがなかなか難しいくらい、どれも楽しい！やりたい！と最後まで意欲満々の子どもたちでした。

きいぐみさんは普段から踊ったり歌ったりすることが大好き。早くから『あと何回寝たら発表会？』と聞くほど、楽しみにしていました。遊戯の振り付けや、劇のセリフが難しいところもあり、予行練習の時にはなかなかスムーズに進まず、大丈夫かなと心配でしたが、自分たちで、『先生、もう1回練習しよう。』と、できなかつたらできるまで頑張るとあきらめずに取り組み、当日は驚くほど立派にできました。自信にあふれた姿に嬉しく思いました。



しろぐみさんは早くから発表会への意欲が高まり、何をしたいか、どういう風にしたらいいかなど、話し合いを始めていました。お友だち同士意見を出し合い、お互いに良いところをほめ合ったり、注意をしあったりと、保育者があれこれ言わなくても、自分たちで目標を定め、そこに向かって日々取り組んできました。また、小さいお友だちが練習しているのも優しく見守り、『かわいいよ』『かっこいいよ、頑張ってる！』と励ます姿は、さすが保育園の最高学年！という姿でした。



先日の発表会では、たくさんの方の温かいまなざしの中、一人ひとりの子どもたちがそれぞれの個性を十分に発揮し、立派に発表することができました。保護者の皆さまにもそれぞれの学年で、その学年らしさの成長をたくさん感じていただけたのではないかと思います。発表会の前から、職員と、発表会に向けての過程を大切に、一人ひとりの姿を丁寧に見守っていきこうと話をし、取り組んでいきました。日々の職員と子どもたちの様子を見てみると、クラスのあちこちで練習のたびに子どもたちとの話し合いが行われ、その中では笑い声にあふれる様子がたくさん見られました。発表会当日の子どもたちの立派な姿は、結果としてはもちろん嬉しい大成功！ですが、この日々の取り組みの過程こそが、今回の発表会の一番の成果だと思っています。進級、進学まであと二か月、今回の子どもたちの自信、意欲などの成長をさらに盛り上げていきながら、子どもたちの姿を丁寧に見守り、さらに楽しいあそびに繋げていきたいと思っています。

幼稚園主任